

178
11

三代記

武徳編倉日記

十一巻

178
11

東京書
目録

武德錄倉田記卷之第十一

目録

- ① 宇都宮世系 付 孫三郎頼綱追討傳之事
うつのみや せいけい つけ 孫三郎 頼綱 追討 傳之 事
- ② 宇都宮世系 付 孫三郎頼綱追討傳之事
宇都宮 世系 付 孫三郎 頼綱 追討 傳之 事
- ③ 將軍家勅古今集と評覽 并 首發刑
將軍 家勅 古今集 と 評覽 并 首發 刑
- ④ 櫻井五郎百舌鳥とつて鳥とどりし
櫻井 五郎 百舌鳥 と つて 鳥 と どりし

武德錄卷之十一

目録

⑤ 善哉君袖く清所入結入并 吾妻おづまの

守部脚之出仕をなめし海へ奉

⑥ 盤五家決生捕らりて并 吾妻乃守部

清助氣とゆるさ給へり

⑦ 熊谷入道遠は社生れ奉

武徳録倉田記第十一之卷

① 宇敷文の世系 付孫之裔於徳退伐強是奉

其は下孫國小宇敷文の孫と高杉綱といふ者ありその世

系とみれば大藏冠強足のは流粟田丸園白道兼公乃

高孫たり乃兼公の由子と於中納言兼隆といふは其の

子右少將兼房朝長に和家といふは其の孫なり其の孫

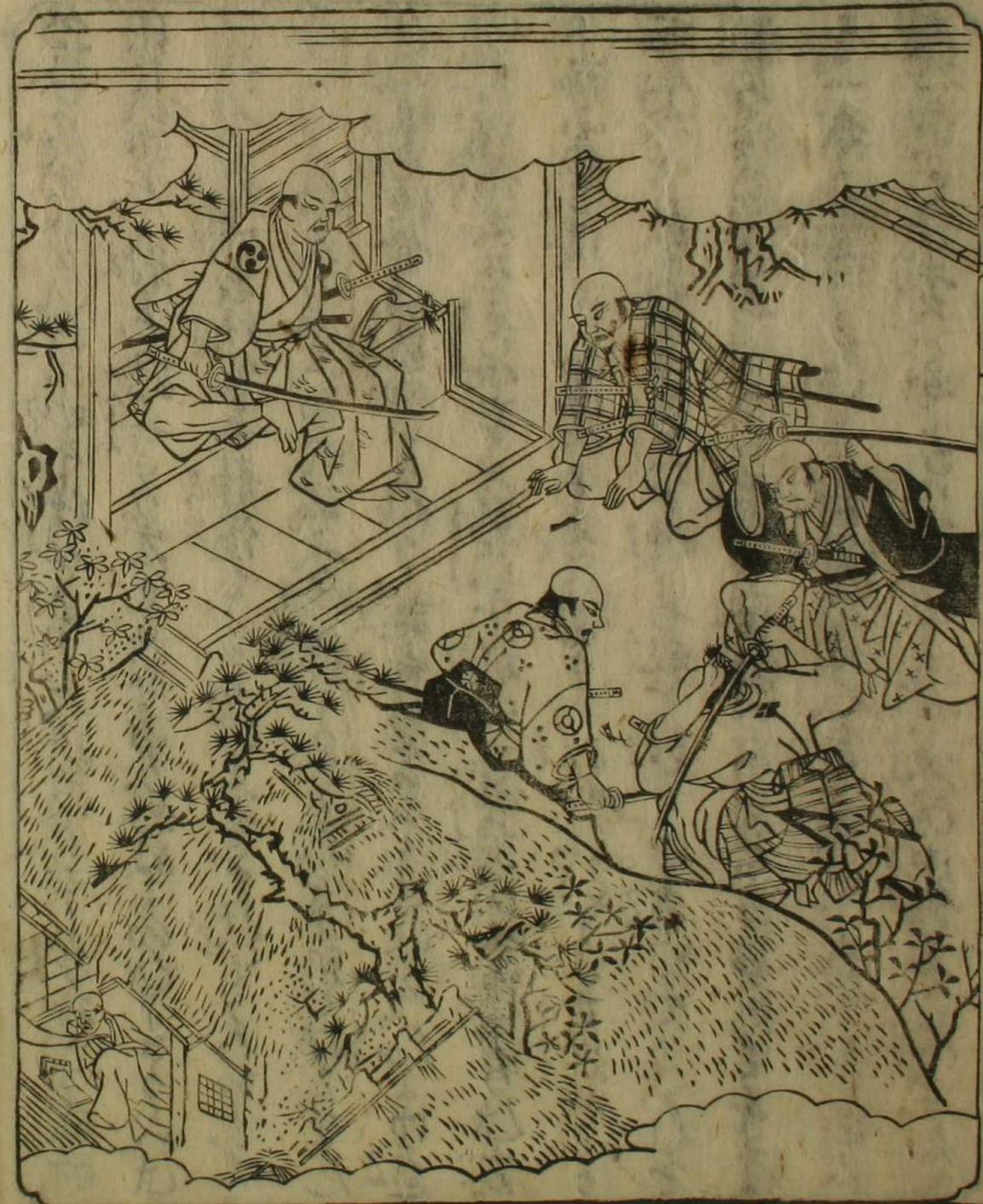
少將兼仲朝長次男は沙門靜範次は其の孫なり其の孫

は其の孫なり其の孫なり其の孫なり其の孫なり其の孫

乃元祖なり其の孫なり其の孫なり其の孫なり其の孫

は其の孫なり其の孫なり其の孫なり其の孫なり其の孫

其の孫なり其の孫なり其の孫なり其の孫なり其の孫



正保元年十一月

はの道わらひしひききた我の八十乃去りあひり
 其の探集の載れる程あかどつひあわは八十
 して誕生せしむるなり。長あ上人。道生は師の石橋の共
 今の世ゆても苦学いなり。されに浄土淨法章平に云
 宇都宮実修上人被_レ度_レ有_レ功立_レ庵留_レ躰と

③おのゝ家新古今集と浄覺并首後後款抄事

正徳の上りもほち新院の勅命によりて源中納言長具は中納言
 若原の家に後二位若原長房の長孫若原雅経若原有景
 新古今集と云ふなり。性善延喜の帝は中納言紀實之勅状
 ありて古今集を云ふなり。村上天皇の中納言大中納言
 能宣源順は永元捕紀時文地とら海けぬ人は勅と云ふ

を撰せられ一重院の中納言大納言長任は令じて拾遺集と撰
 せしは是と三代集と号し。そのら白河院の中納言若原通俊
 拾遺集と云ふ。崇徳院の中納言源俊賴令古今集と撰し。
 仁徳院の中納言若原雅経行集と云ふ。白河院の御
 宇の若原俊成子若原と撰り。今の新古今集とて是と
 合をて八代集といふなり。け新古今若原集は去三月十六日
 撰集し。四月小養覧といふ。竟寧もかゝるに似て撰
 の後もかゝる。尚何お家。お方のたとおもひけり
 由又お家お方の中納言も。おもひけり。とておもひけり
 由後せられけり。おもひけり。おもひけり。おもひけり
 といふのわり。年はお家の門人かお方のたとおもひけり。

ついでに... 親門の... 宰相の... 多しぬか...

④ 榎井... 榎井... 榎井...

榎井... 榎井... 榎井... 榎井... 榎井...

榎井... 榎井... 榎井... 榎井... 榎井... 榎井... 榎井... 榎井... 榎井... 榎井...

はまをばらばらとてんや。物えが武蔵と感ぐ。こころやば
びとりのま

七 熊谷入道道生養生事

宣い武蔵國の住人熊谷のひろ重車賣の故大夫お家乃中尉。
物家遊世してをけり。お家のひろ重車賣の住人お家乃中尉。
道生と改名。一向専念れ。お家乃中尉のひろ重車賣の故大夫お家乃中尉。
えひ五月十三日。お家乃中尉乃中尉。上野上生の養生事。
教を記せり。向廿日の教道生が教。お家乃中尉のひろ重車賣の故大夫お家乃中尉。
信みお家乃中尉と記せり。お家乃中尉のひろ重車賣の故大夫お家乃中尉。
お家乃中尉のひろ重車賣の故大夫お家乃中尉。お家乃中尉のひろ重車賣の故大夫お家乃中尉。
お家乃中尉のひろ重車賣の故大夫お家乃中尉。お家乃中尉のひろ重車賣の故大夫お家乃中尉。

